
令和 7 年度大分県温泉調査研究会 通 常 総 会 議 案 書

■議案 1 総会に報告する事項

報告① 役員・会員等の異動	1
報告② 令和 6 年度事業報告	2～3
報告③ 令和 6 年度収支決算報告	4～5
報告④ 令和 6 年度監査報告	6～7

■議案 2 総会に付議する事項

付議① 大分県温泉調査研究会 負担金規定（案）	8
付議② 令和 7 年度事業計画（案）	9
付議③ 令和 7 年度収支予算（案）	10

■その他

大分県温泉調査研究会研究課題執筆要領	11
--------------------	----

■議案 1 総会に報告する事項 報告① 役員・会員等の異動

役員及び会員の異動について次のとおり報告する。

役員

役職	新任		退任	
	所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
副会長	大分県自然保護推進室 室長	羽田野 康仁	大分県自然保護推進室 室長	浜田 みほ
常務理事	大分県自然保護推進室 温泉・地域資源活用班 主幹（総括）	山内 聖子	大分県自然保護推進室 温泉・地域資源活用班 主幹（総括）	内藤 元理
監事	大分県東部保健所 所長	藤内 修二	大分県東部保健所 所長	糸長 伸能

会員

入会		退会	
所属・職名	氏名	所属・職名	氏名
広島大学大学院 先進理工系科学研究科地球惑星システム学プログラム 特任助教	平山 剛大		
公益社団法人大分県薬剤師会検査センター 食品環境課 課長	小柳 雅裕	公益社団法人大分県薬剤師会検査センター 食品環境課 課長	甲斐 美穂
大分県衛生環境研究センター 微生物担当 主幹研究員	加藤 聖紀	大分県衛生環境研究センター 微生物担当 主幹研究員（総括）	池田 稔
大分県衛生環境研究センター 微生物担当 研究員	三浦 桜子	大分県衛生環境研究センター 微生物担当 研究員	遠藤 智哉
大分県衛生環境研究センター 微生物担当 研究員	麻生 尚宏		
大分県衛生環境研究センター 水質担当 主任研究員（総括）	清國 直樹	大分県衛生環境研究センター 水質担当 主任研究員（総括）	松田 貴志
大分県衛生環境研究センター 水質担当 主任研究員	渡邊 由美子		
大分県衛生環境研究センター 水質担当 研究員	森 智貴	大分県衛生環境研究センター 水質担当 研究員	朝見 将太

■議案 1 総会に報告する事項 報告② 令和 6 年度事業報告 (1)

1 会議等の開催

(1) 役員会

日 時 令和 6 年 7 月 4 日 (木) 13:30～
場 所 大分県庁別館 53 会議室
出席人数 13 名

(2) 通常総会

日 時 令和 6 年 8 月 22 日 (木) 13:00～
場 所 別府ビーコンプラザ 中会議室
出席人数 27 名 (うちオンライン参加 13 名)、委任状提出 50 名

(3) 研究発表会

日 時 令和 6 年 8 月 22 日 (木) 14:00～
場 所 別府ビーコンプラザ 中会議室
出席人数 48 名 (うちオンライン参加 20 名)
研 究 発 表

	発表演題	研究者	発表者
①	大分平野の深層熱水型温泉に含まれるアンモニウムイオンの窒素同位体比	網田 和宏 他 3 人	網田 和宏
②	別府鉄輪地区温泉水中のケイ酸の状態解析	江藤 真由美	江藤 真由美
③	大分平野の地下構造 (2) - 反射法地震探査 -	竹村 恵二 他 1 人	竹村 恵二
④	大分市温泉分析データの時空間マッピング	澤山 和貴 他 2 人	澤山 和貴
⑤	温泉藻類 RG92 エキスが養殖ヒラメの健苗性に与える効果についての検討	野畑 重教 他 1 人	野畑 重教
⑥	【総括】 新型コロナパンデミックは別府温泉の入浴行動に影響を与えたか? - 第 1 波から収束までの入浴行動の分析 -	加藤 礼識 他 4 人	加藤 礼識 (動画発表)

(誌上発表)

	発表演題	研究者
①	日常的な単純泉あるいは塩化泉入浴の違いによる利用者の健康寿命推移進展の違い - 別府市および大分市を対象地区として -	青野 裕士
②	夜間の温泉利用と高齢者の血圧変化に関する検討	山崎 聡
③	九重火山群の第四紀火山岩類の地球化学的研究 2	柴田 知之 他 6 人
④	竹田市長湯温泉地域で採取された温泉水の Sr 同位体比	芳川 雅子 他 1 人
⑤	別府温泉郷 100 年の発展と大分県内温泉地域とのかかわり	中山 昭則
⑥	別府市内で発生した入浴中の緊急搬送数の分析 ～入浴中の体調不良につながるファクターの探求～	阿部 しず代 他 3 人
⑦	地元のオーガニックで健康的な食事と別府温泉を楽しむ	マヒチ ファエゼ

■議案 1 総会に報告する事項 報告② 令和 6 年度事業報告 (2)

2 県内における温泉の科学的調査研究

下記の研究に対して経費の助成を行った。

研究テーマ		研究者
1	持続可能な温泉利用についての検討 ～温泉管理のマンパワー不足をどう解消するか～	加藤 礼識
2	夕食前の温泉全身入浴に続く、次日の朝食前早朝時の温泉全身入浴が、ひとのホルチゾール日内変動に及ぼす影響_快眠後の気分向上への効果	青野 裕士
3	大分平野の地下構造 (3) ー伏在断層の分布と活動性ー	竹村 恵二
4	大分市温泉化学成分の地質学的・地球統計学的考察	澤山 和貴
5	九重火山群の第四紀火山岩類の地球化学的研究 3	柴田 知之
6	九重山麓の湧水等のSr同位体比 由布市九重火山群黒岳・前岳山麓で採取された湧水について	芳川 雅子
7	2018年～2024年の6年間で別府市内にて発生した入浴中の緊急搬送数の分析 ～入浴中の体調不良につながるファクターの探求～	多川 優也
8	温泉の蒸気を活用した調理：他の調理法と比較した場合の味覚、色、効率等の違い	マヒチ・ファエゼ
9	産業動物におけるプレバイオティクスとしての温泉藻類RG92エキスの評価	野畑 重教
10	低成長ウナギにおける温泉藻類RG92エキスの成長促進効果と雌性化に関する検討	野畑 重教

3 「大分県温泉調査研究会報告第 7 5 号」の発刊（令和 5 年度調査研究分）

【配布先】

- ・ 県内市町村
- ・ 温泉調査研究会会員
- ・ 県環境審議会温泉部会委員
- ・ 登録分析機関
- ・ 県関係各課
- ・ 県政情報課
- ・ 各保健所（部）
- ・ 関係研究機関等

■議案 1 総会に報告する事項 報告③ 令和 6 年度収支決算報告 (1)

1 収 入

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差引増減	摘 要
	内 訳	(A)	(B)	(B) - (A)	
前年度繰越金		492, 516	492, 516	0	
負担金収入		1, 480, 000	1, 480, 000	0	
	大分県負担金	770, 000	770, 000	0	
	大分市負担金	40, 000	40, 000	0	
	別府市負担金	300, 000	300, 000	0	
	中津市負担金	20, 000	20, 000	0	
	日田市負担金	30, 000	30, 000	0	
	臼杵市負担金	20, 000	20, 000	0	
	竹田市負担金	30, 000	30, 000	0	
	豊後高田市負担金	20, 000	20, 000	0	
	宇佐市負担金	20, 000	20, 000	0	
	由布市負担金	110, 000	110, 000	0	
	国東市負担金	20, 000	20, 000	0	
	姫島村負担金	20, 000	20, 000	0	
	九重町負担金	60, 000	60, 000	0	
	玖珠町負担金	20, 000	20, 000	0	
賛助会員負担金		150, 000	150, 000	0	
	(公社)大分県薬剤師会	30, 000	30, 000	0	
	タナベ環境工学(株)	30, 000	30, 000	0	
	九電産業(株)	30, 000	30, 000	0	
	(一財)九州環境管理協会	30, 000	30, 000	0	
	西日本技術開発(株)	30, 000	30, 000	0	
雑収入		0	432	432	
	預金利子収入	0	432	432	
合 計		2, 122, 516	2, 122, 948	432	

■議案 1 総会に報告する事項 報告③ 令和 6 年度収支決算報告（2）

2 支 出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差引増減
	内 訳	(A)	(B)	(B) - (A)
調査研究費		1,080,000	900,000	△ 180,000
	研究テーマ			
	1 持続可能な温泉利用についての研究 ～温泉管理のマンパワー不足をどう解消するか?～	90,000	90,000	0
	2 夕食前の温泉全身入浴に続く、次日の朝食前早朝時の温泉全身入浴 が、ひとの cortisol 日内変動に及ぼす影響_快眠後の気分向上への効果	90,000	90,000	0
	3 大分平野の地下構造（3） －伏在断層の分布と活動性－	90,000	90,000	0
	4 大分市温泉化学成分の地質学的・地球統計学的考察	90,000	90,000	0
	5 九重火山群の第四紀火山岩類の地球化学的研究 3	90,000	90,000	0
	6 九重山麓の湧水等の Sr 同位体比 由布市九重火山群黒岳・前岳山麓で採取された湧水について	90,000	90,000	0
	7 温泉観光都市成立100年の全国的視野から見た意義 －大分県別府市からみる－	90,000	0	△ 90,000
	8 塚原温泉の歴史的変遷からみる温泉環境問題についての研究 ～強酸性温泉が起こす環境負荷は存在するのか?～	90,000	0	△ 90,000
	9 別府市内で発生した入浴中の緊急搬送数の分析No2 ～入浴中の体調不良につながるファクターの探求～	90,000	90,000	0
	10 温泉の蒸気を活用した調理：他の調理法と比較した場合の味覚、 色、効率等の違い	90,000	90,000	0
	11 産業動物におけるプレバイオティクスとしての温泉藻類RG92エキスの 評価	90,000	90,000	0
	12 低成長ウナギにおける温泉藻類RG92エキスの成長促進効果と雌性化 に関する検討	90,000	90,000	0
資料発行費	大分県温泉調査研究会報告書第75号作成	440,000	435,270	△ 4,730
会議開催費		370,000	369,859	△ 141
	役員会	3,000	1,690	△ 1,310
	総会・研究発表会	367,000	368,169	1,169
温泉に係る情報収集・発信		45,000	45,000	0
	日本温泉科学会会費	15,000	15,000	0
	日本温泉地域学会会費	30,000	30,000	0
事務費		50,000	40,977	△ 9,023
予備費		137,516	0	△ 137,516
合 計		2,122,516	1,791,106	△ 331,410

令和 7 年度への繰越金

令和 6 年度収入済額	2,122,948
令和 6 年度支出済額	1,791,106
差引次年度繰越額	331,842

監 査 報 告 書

大分県温泉調査研究会の令和6年度事業にかかる会計監査を下記のとおり実施したので報告します。

記

令和7年6月12日に令和6年度決算報告に基づき関係帳簿並びに証拠書類を精査した結果、適正な事務処理が行われており指摘事項はありません。

令和7年6月12日

監 事 植田 英彦

監 査 報 告 書

大分県温泉調査研究会の令和6年度事業にかかる会計監査を下記のとおり実施したので報告します。

記

令和7年6月20日に令和6年度決算報告に基づき関係帳簿並びに証拠書類を精査した結果、適正な事務処理が行われており指摘事項はありません。

令和 7 年 6 月 20 日

監 事

藤 内 修 二

■議案2 総会に付議する事項 付議① 大分県温泉調査研究会負担金規定

大分県温泉調査研究会 負担金規定（案）

（趣旨）

第1条 この規定は、大分県温泉調査研究会（以下、研究会という）会則第18条に定める負担金に関し、必要な事項を定めるものとする。

（負担金の種類）

第2条 負担金の種類は、次のとおりとする。

- （1）大分県負担金
- （2）会員市町村負担金
- （3）賛助会員負担金

（負担金の算出方法）

第3条 前条の規定による負担金は、次により算出する。

- （1）大分県負担金
大分県の予算措置による。
- （2）会員市町村負担金
 - ・均等分 20,000円
 - ・加算分 源泉数が100を超える場合は、100箇所毎に10,000円を加算する。なお、源泉数は、算出年度の前年度末現在を基準とする。
- （3）協賛会員負担金
30,000円

2 年度途中に会員となった場合の前項の規定に基づき算出する負担金の額は、月割をもって算出する。この場合における月数は、暦に従って計算し、1月に満たないときは1月とし、1月に満たない端数を生じたときは切り捨てる。

（納付と納付期限）

第4条 前条の規定により算出した負担金の納付は、研究会会長が発行する負担金請求書に基づき、研究会会長の指定する納付期限までに行うものとする。

附 則

この規定は、令和7年度予算から適用する。

■議案 2 総会に付議する事項 付議① 令和 7 年度事業計画

1 役員会の開催

日 時 令和 7 年 6 月 2 5 日（水） 1 3 : 3 0 ~ 1 4 : 3 0
場 所 市町村会館 6 1 会議室

2 通常の総会

日 時 令和 7 年 8 月 2 5 日（月） 1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 0 0
場 所 別府ビーコンプラザ 中会議室

3 研究発表会の開催

日 時 令和 7 年 8 月 2 5 日（月） 1 4 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
場 所 別府ビーコンプラザ 中会議室

4 温泉の調査研究に係る研究課題に対し助成を行う

研究テーマ		研究者
1	九重山麓の湧水等のSr同位体比	芳川 雅子
2	九重火山群の第四紀火山岩類の地球化学的研究 4	柴田 知之
3	別府市内で発生した入浴中の緊急搬送数の分析No 3 ～入浴中の体調不良につながるファクターの探求～	多川 優也
4	温泉管理のマンパワー不足はどう解消できるのか？	加藤 礼識
5	温泉維持管理に関連した地域住民との合意形成とは何か？	塩見 泰美
6	大分平野の3次元温泉地質概念モデルの構築	澤山 和貴
7	サーモン養殖への温泉藻類RG92エキスの活用の検討	野畑 重教
8	温泉藻類RG92エキスを与えた採卵鶏の健苗性評価	野畑 重教
9	ROS(活性酸素種) の低産生レベルの刺激によるホルミシス効果が健康 寿命の延伸に寄与する影響の推測	青野 裕士
10	国東半島両子山火山群のマグマ進化過程の地球化学的検討	平山 剛大
11	外国人旅行者の温泉に対する意識調査と考察	マヒチ ファエゼ

5 「大分県温泉調査研究会報告第 7 6 号」の発刊（令和 6 年度調査研究分）

■議案 2 総会に付議する事項 付議② 令和 7 年度収支予算（案）

1 収 入		2 支 出			(単位：円)
科 目（内 訳）	予算額	科 目（内 訳）	予算額	備考	
前年度繰越金	331,842	調査研究費	990,000		
負担金収入	1,480,000	研究テーマ			
大分県負担金	770,000	1 九重山麓の湧水等のSr同位体比	90,000		
大分市負担金	40,000	2 九重火山群の第四紀火山岩類の地球化学的研究 4	90,000		
別府市負担金	300,000	3 別府市内で発生した入浴中の緊急搬送数の分析No 3 ～入浴中の体調不良につながるファクターの探求～	90,000		
中津市負担金	20,000	4 温泉管理のマンパワー不足はどう解消できるのか？	90,000		
日田市負担金	30,000	5 温泉維持管理に関連した地域住民との合意形成とは何か？	90,000		
臼杵市負担金	20,000	6 大分平野の3次元温泉地質概念モデルの構築	90,000		
竹田市負担金	30,000	7 サーモン養殖への温泉藻類RG92エキスの活用の検討	90,000		
豊後高田市負担金	20,000	8 温泉藻類RG92エキスを与えた採卵鶏の健苗性評価	90,000		
宇佐市負担金	20,000	9 ROS(活性酸素種)の低産生レベルの刺激によるホルミシス効果 が健康寿命の延伸に寄与する影響の推測	90,000		
由布市負担金	110,000	10 国東半島両子山火山群のマグマ進化過程の地球化学的検討	90,000		
国東市負担金	20,000	11 外国人旅行者の温泉に対する意識調査と考察	90,000		
姫島村負担金	20,000				
九重町負担金	60,000				
玖珠町負担金	20,000				
賛助会員負担金	150,000				
(公社)大分県薬剤師会	30,000				
タナベ環境工学(株)	30,000				
九電産業(株)	30,000				
(一財)九州環境管理協会	30,000				
西日本技術開発(株)	30,000				
		資料発行費	201,300		
		大分県温泉調査研究会報告書第76号作成	201,300		
		会議開催費	371,000		
		役員会	2,000		
		総会・研究発表会	369,000		
		温泉に係る情報収集・発信	45,000		
		日本温泉科学会	15,000	賛助会員	
		日本温泉地域学会	30,000	賛助会員	
		事 務 費	50,000		
		予 備 費	304,542		
合 計	1,961,842	合 計	1,961,842		

大分県温泉調査研究会研究課題執筆要領

1. 執筆資格

執筆の資格は、本会の会員とする。ただし、共同研究の場合は、原則として責任著者が本会の会員であること。

2. 研究の内容

「大分県温泉調査研究会 調査研究報告費 支出規定」第3条に該当する研究で、未発表のものとする。

3. 執筆の手続き

当該年度に執筆を希望する者は、年度当初の事務局からの調査研究課題に関する照会に対し、別紙「調査研究計画書」を提出する。

4. 研究計画の採否

調査研究計画書に基づき、役員会で採択の可否を審議し、総会にて決定する。役員会は、採択にあたり条件を付することができる。単年度に採択する研究課題は、10題程度までとする。なお、単年度の筆頭著者としての採択は原則一人1題とする。複数年にわたる調査研究が必要な場合は、調査研究計画書に全体計画を明記すること。

5. 執筆費用

調査研究に要する経費は、別紙「大分県温泉調査研究会調査研究報告費支出規定」により支給する。なお、大学に所属する者は、受領方法について大学の承諾を得ること。

6. 原稿の構成

- ① 原稿は、Wordを使用し、A4版用紙縦、1段組、横書き、白黒とする。
- ② 1頁の文字数は、40字×40行＝1,600字とする。
- ③ 研究課題の題目、著者名は、1ページ目の1行目に研究課題の題目を中央揃え、一行空けて筆頭著者の所属機関、次行に筆頭著者名を右揃えで記すこと。共同研究者がある場合は、次行以降に所属機関、共同研究者名を同様に記すこと。その際、責任著者がいる場合は明記すること。
- ④ 本文の字体はMS明朝、フォントは10.5ポイントを基本とする。
- ⑤ 図・写真・表はJPEG等のファイルとし、原図は線の太さ、字の大きさは縮小率を考え、そのまま版下にできるように作成すること。
- ⑥ 原稿の長さは、原則として4頁以上20頁以内とする。
- ⑦ 学会誌や学術雑誌に査読つき論文として投稿を予定している調査報告については、簡易な報告も認めるので事務局まで報告書の体裁等について相談すること。

7. 校正

校正は事務局とメールで行い、著者校正とする。校正は誤植のみとし、文章などの追加、削除は原則として認めない。

8. 著作権

「大分県温泉調査研究会報告」に関するすべての著作権は、大分県温泉調査研究会に属するが、原稿の内容については、著者責任とする。

9. その他

この要領は、令和7年8月25日から施行する。